

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		にじいろキッズらいふ若里東(児童発達)		公表日		令和7年3月24日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・ 体制 整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	1	3				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	2	・お子さんにとって、わかるルーティンを沢山作り、待つ時の保証(絵本の読み聞かせ、手遊び、玩具で遊ぶ)をしながら、大人がいなくてもお子さんが動ける力を育てることで、工夫している。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	1	3	・マットや絨毯、衝立を使用することで、構造化を図っている。	・歩行可能な子どもと未歩行の子どもが同じ空間にいるため環境配慮に工夫が必要である。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3	1	・清潔感は保たれている。 ・午前と午後でお部屋の環境が全く異なるので、児童発達/放課後デイとお子さんの合わせた環境になっている。			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	1	3				
業務 改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	2	2				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	1				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	2	・職場内での意見をいつでも上司に話せる環境であり、提案する機会がある。それを受けて、上司もできる限りで対応を考えてくれる。			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	1				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0				
適切 な 支 援 の	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	2	2				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	1	3				
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2	2	・児童の担当者が、利用児童の様子や保護者のニーズを多少含めた形で作成している。			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2	2				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	1	3	・何が原因であり、どうしたら良いか等の検討は日頃から支援者同士で相談している。また対応が難しい場合には専門職(OTや相談員)に意見をお聞きしながら、児童の支援をしている。			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	2	2	・月の活動を考える際にお子さんの様子を配慮し、相談しながら決めている。			

提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0	・3か月ごとに主活動の内容を変更している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4	0	・集団遊びに参加できる児童には、集団ルールの遊びを取り入れ、個別活動の児童には強制せず活動を組んでいる。また、支援計画にも集団を意識できる遊びへの参加を盛り込んでいる。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3	1	・出勤時間が異なる職員がいるので、紙ベースで活動内容を明記し、役割分担を視覚的に提示している。打ち合わせができる際には、活動の確認を行なっている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	1	3	・お子さんの様子や参加の様子など、職員間で共有するようにしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0	・その日に気になったことはメモし、変化や不安がある際には上司や専門職(OTやPT)に確認して、支援に活かしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	1	・専門職によるモニタリングでお子さんへの支援の方向性や対応の工夫のアドバイスを受け、支援に取り入れている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	1	・情報共有を積極的にしている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	0	・動画や写真などを提示し、どのような支援をしているか分かりやすく伝えている。また、併用先の保育士等に来ていただき様子を観察していただいている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	0	4		・就学対象の子どもの利用はありません。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	0		・センターからのスーパーバイズは個に対しては実施してもらっているが、集団の中での課題や強みなどを把握する面でも入ってもらう必要がある。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	3		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	・その日の活動の様子を写真でお伝えして、言葉だけでなく姿を見もらうことも大切にしている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	0	・単独利用のお子さんも、月に数回親子で療育に参加する日を設けることで、お子さんへの理解を深めること、配慮の仕方等をその場でお伝えしている。		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0			
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0			
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4	0			

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0	・日頃から保護者とのコミュニケーションをとり、相談をしやすい環境作りをしている。また、電話での相談にも応じている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	2		
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4	0		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0		
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0	・日頃から連絡ノートでのやり取りを行い、小さなことでも保護者との会話を心掛けている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	3		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3	1		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	0	・服薬に変化がある児には、その都度お薬手帳のコピーをもらい、服薬の状況を共有している。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	1	・給食、おやつ提供がないが、アレルギーがある児の席順は配慮している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	1	3		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3	1	・児童発達では、着席時の椅子が姿勢保持の面から、机付き椅子を使用するが、使用する児に関して身体拘束に当たることを保護者にお伝えし、どういう場面で必要であるかを支援計画にも記載し了承を得ている。		